

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	日本芸術院会館施設整備		担当部局庁	文化庁			作成責任者
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・平成24年度		担当課室	文化部芸術文化課			芸術文化課長 舟橋 徹
会計区分	一般会計		政策・施策名	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文部科学省設置法第32条 日本芸術院令		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本芸術院美術品収蔵庫は、竣工後43年が経過し、所蔵作品の増加による狭隘化が極めて著しく、作品の搬入搬出時に直接外気に触れたり、雨天時に濡れる等の環境下にある。また、昨年の地震やその後の余震によって、地上高7.3mの屋根部分で南側に14.4cm(東側)、13.5cm(西側)の傾きが生じていることが判明し、収蔵作品の破損等も危惧されるため、既設収蔵庫の増改築を行い適切な環境で美術品を管理できる体制を整えるものである。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本芸術院所蔵の美術品を適切に管理・保管するため、収蔵庫の増改築を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	-	-	716	-	-
		繰越し等	-	-	△ 714	714	-
		計	-	-	2	714	-
		執行額	-	-	2	-	-
	執行率 (%)	-	-	100.0%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	日本芸術院収蔵庫を改築し、所蔵する美術作品を適正な維持管理を行う。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	日本芸術院収蔵庫を改築する。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-
				(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	716百万円/1工事		算出根拠	平成24年度補正予算額/1工事			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
				※平成24年度限りの経費			
	計						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	貴重な国民的財産である日本芸術院所蔵美術品の適切な保存環境の整備・充実の観点から、日本芸術院が実施すべき優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	工事業者等の選定は、一般競争入札を行うことで競争性を担保し、更にコストの削減にも努める。 施設の設備等についても、有識者等に、工事範囲や効率的・経済的な工法等について検討を重ね、美術品を保存・管理するうえで必要なものに限定するよう努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	整備は、約320点まで増加した所蔵数に合わせて、既存施設に最小限の改修を行う計画であり、適切な保存環境に加え、効率性やコスト等を考慮したものである。 改築後の収蔵庫に日本芸術院所蔵美術品を適切に管理・保管を行いする予定である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>本業務は、貴重な国民的財産である日本芸術院所蔵美術品の適切な保存環境の整備・充実を目的とし、狭隘化し著しく保管環境が悪化した既存の施設を改築・整備するものであり、国として行うべき事業である。</p> <p>整備規模は、増加した所蔵数に合わせて、既存施設に最小限の改修を行う計画であり、効率性やコスト等を考慮したものとなっており妥当である。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
平成24年度限りの経費						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—						
備考						
【文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)】 http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新25-0042

※平成24年度の実績を記入

日本芸術院
2百万円

施設施工庁費 2百万円

※本事業については、714百万
円を平成25年度に繰り越してい

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

費目・使途
 (「資金の
 流れ」にお
 いてブロッ
 クごとに最
 大の金額
 が支出され
 ている者に
 ついて記載
 する。費目
 と使途の双

A.			E.		
計		0	計		0
B.					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0